

教団新報

定 価 1部 144円(本体 133円+共 206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし

第 39 回 日本基督教団総会

伝道する教団の建設 - 信仰の一致に基づく伝道の推進 -



4 役で 39 総会期を
(左より雲然書記、石橋議長、佐々木副議長、長崎総幹事)

新副議長に佐々木美知夫氏 石橋秀雄議長・雲然俊美書記再選

第39回教団総会は、教区活動連帯金、伝道資金を巡る議論に多くの時間を割いた。教区活動連帯金検討が総幹事に委ねられて以来、3総会期に亘り常議員会は継続審議、今総会にて連帯金廃止を決定し、新たに伝道資金規則を制定した。15年度より運用開始する。制定された規則に則り伝道に資する資金として用いることが、今総会期からの大きな課題となる。会期中、報告会を持った東日本大震災救援対策、青年伝道も次のステップに進まなくてはならない。

信仰・教会、一致して伝道に取り組む

岡本知之、久世そらち、倉橋康夫、雲然俊美、菅根信彦、中村公一、西岡昌一郎、張田 眞、古谷正仁

本キリスト教会館の耐震問題で、教団3局は、7月、新宿区大久保に一時移転したが、10月の第6回常議員会で、耐震補強工事が承認された」と述べた。
総幹事報告に対し、安田信夫議員(大阪)が「38回総会で、議員でない者が常任委員に選ばれ、今総会に会計監査の1人として監査報告を行っている。教規違反ではないかと質問した。長崎総幹事は、「確かに議員でない岩澤嵩氏を、前総会で常任委員に選任していた。遺憾なことで深くお詫びしたい」と陳謝した。この処理について、議長席からの「岩澤氏の2年間の働きを認めることをここで議決したい」との発言に、満場が大きな拍手で応え、この問題は落着した。
1日目夜行われた議長選挙で、石橋秀雄議長が再選された。

選挙方法をめぐり議論

36回総会以来、連続して争点となってきたのが、常議員選挙の選挙方法で、今総会でも争点の一つとなった。議案6号「予備投票を行わず、全数連記投票」(常議員会に対し、斎藤成二議員(大阪)が、議案44号「半数連記投票」を提案。同議案の先議から議論が始まった。

「合同教会と言いなから、議場の4割の意見が否決されて来た。4割をモロとしないために、半数連記は必要」との提案理由に対し、



374 名が会し、伝道推進を話し合う

佐々木副議長は、「副議長の務めに選んで下さったことに畏れを覚えつつ、主の御旨があると信じて、議長を助けることに徹して行きたい」と挨拶した。
書記は、慣例に従い、正副議長協議で提案した雲然俊美書記を議長が承認し、再選された。雲然書記は挨拶で、「書記の務めは会議を

ている。

「教規第1条は、議員組織に関する規定なので、本来、議員全体に被選挙権がある」「教規の変更というのに、思い込みが強すぎる。21%の選出で、何か問題が起きたのか」の反対。「教団が発展するには、少数派が必要。少数派を守るために、こういう制限も仕方ないのではないか」の賛成など、議論は平行線をたどった。教規変更には、3分の2以上の同意が必要だが、投票の結果、投票総数368、賛成129で少数否決となった。

(永井清陽報)



先日、牧師同士で旅の話になった。時間を作りくりし費用を工夫してじょうずに国内外の旅に行く牧師もいる。君はどこに行きたいか、と問われて困ってしまった。あまり行きたいと考えていなかったからだ。元々、出不精なせいが必要が無いと旅に出る腰も重い。教会学校のキャンプ、新報の取材、目的がはっきりしていれば重い腰も上がる。▼そうなら夫婦で、家族で美しい自然、日常とは異なる文化、社会に触れ、ふだん口にするのではない食事を楽しんだりは大切な目的じゃないの、と家族の声が聞こえてきた。▼夏冬に元気な様子を互いに確かめ合うため実家に行くというのがここ最近の家族旅行だ。▼タスクをひとつひとつ消化してゆく毎日が旅にも思えるので非日常を求める旅を欲さない、と言ったら強がりか。日常が旅という考え方をどこまで身に着けたか思い直してみたら、聖書、教会に出会ったことに源がある。聖書が記す旅する神の民、教会に自分も取り込まれてある、と信じられるようになってからだ。▼アラハムは行く先を知らず旅に出た。パウロは福音を携え地中海世界を行き巡った。小さな書齋に籠って目の前の仕事を決して器用にはないが、ひとつひとつ積み重ねてゆくことに旅を見るのも愉快と思えるが、やはり強がりだろうか。

教区活動連帯金を廃止、伝道資金規則を制定。15年度より交付

常議員会提案「教区活動連帯金廃止」伝道資金規則制定」議案に関連し、審議方法を提案する「連帯金廃止・規則制定統合審議」議案（提案・小西望議員「東北」、賛同59名）、対抗議案として「連帯金推進」議案（提案・京都教区）がまず先議された。

常議員会が「廃止」制定」を2議案で提案したのに対し、小西議員は、両議案を統合し一つの議案とし審議することを提案した。提案理由を「連帯金廃止を可決し規則制定を否決する場合、教区間財政互助制度を失い、教区互助制度等は困難に陥り地方小規模教会が打撃を受ける」とした。賛否討議し挙手にて採決、370名中賛成171名で統合案を否決した。

「連帯金推進」議案は、伝道資金規則を制定せず、今後も教区活動連帯金を推進し、規則新設、全教区の参加義務づけを提案している。井上勇一議員（京都）が議案を説明「伝道資金の配分方法の公正性、緊急性、妥当性の確保が課題である。現状では連帯金制度化、全教区参加によって制度を深めるべきであるとした。賛否討議ののち無記名投票にて採決、375名中賛成166名、反対208名で推進案を否決した。

先議2議案を否決したのち「教区活動連帯金廃止」議案を上程、審議した。提案理由を「教区活動連帯金運用には当初より規定はなく、教区間の話し合い、配分協議会は配分だけでなく拠出をも決定。教団総会に会計・運営報告はなかった。連帯破壊を理由に脱退・留保・協議不参加教区が生じ、配分委員会は総幹事に打開策を委託。常議員会は検討委員会を設置し、3総会期

に亘り継続し審議した結果、教区活動連帯金は実質立ち行かなくなっていることが判断した。各教区の主体性は自明ではなくなった「制度的位置づけがない」拠出受入が相殺される教区には連帯が真剣なことになるなど。挙手にて採決、366名中197名賛成にて廃止を可決した。

連帯金廃止を可決し「伝道資金制定」議案を上程した。規則は13条に亘る。資

質疑は、検討委員会への検討委託内容、有志運動廃止の意味、教区の連帯金継続意思の尊重等が挙げられた。討議では、廃止反対意見として「地方教会への影響が大きい」「総幹事への委託事項と異なる」「崩れた連帯を建て直すべき」等。賛

成意見は「連帯金使途、収支が教区間で統一していない」「廃止決議により伝道資金制定議論が深まる」「連帯は自明ではなくなった」「制度的位置づけがない」「拠出受入が相殺される教区には連帯が真剣なことにならない」等。挙手にて採決、366名中197名賛成にて

原案に対し修正が提案された（提案・柴田もゆる議員「西中国」、賛同25名）。原案が伝道交付金を「教区の申請によって交付する」（第6条）としているのを「所定の計算式に基づき各教区に交付する」とし、また原案で交付・貸付申請の審査を行なう伝道資金小委

員会を伝道委員会の下に組織する（第11条）のに対し「小委員会は常議員会の下に組織する」と修正を提案している。柴田議員は「所定の計算式、14年度連帯金配分計算式を用いることで教区の小規模教会援助が安定的に財源確保でき、審査過程は直接常議員会に報告

される」と説明した。柴田修正案（修正案1）に対し、大村栄議員（西東京）から更に修正が提案された。大村修正案（修正案2）は、教区申請（第6条）は原案のままとし、小委員

会を、修正案1と同じく、常議員会の下に位置づけるという提案。

再修正提案、討議ののち採決し、修正案1を366名中賛成128名にて否決、修正案2を賛成188名で可決した。

再修正を経た規則により2014年度に小委員会設置、各教区申請受け付け、審査、15年度交付となる。（新報編集部報）

「教会が声明を出すには手続きがある」との反対意見があったが346名中204名の賛成で可決した。北村教師戒規に関連し免職処分撤回を求める2議案は、「教規に抵触する議案だから」（石橋議長）と、上程しなかった。

「改定宗教法人法再改定を求める要望書（京都教区提案）は、宗教法人法改定（95年12月）が信教の自由、政教分離の原則に違反しているとして再改定の要望書提出を提案している。336名中204名賛成により可決した。

兵庫教区議案を除いた沖縄教区関連4議案を含め、計12議案が時間内に上程できず廃案となった。（新報編集部報）



大村議員、規則再修正案を提案

【教職常議員】	【信徒常議員】
◎保科隆（東北）211票	鈴木功男（東京）208票
高橋和人（東京）209票	河田直子（東中国）205票
高橋潤（中部）208票	杉森耀子（神奈川）203票
藤掛順一（神奈川）208票	朝岡瑞子（東京）201票
長山信夫（東京）202票	望月克仁（神奈川）201票
篠浦千史（四国）201票	佐久間文雄（関東）200票
岡村恒（大阪）200票	川原正言（西東京）199票
岡本知之（兵庫）200票	稲松義人（東海）198票
小橋孝一（東京）200票	中嶋曉彦（西東京）197票
深谷春男（関東）199票	◎八嶋由里子（東海）197票
◎真壁巖（西東京）198票	岡田義信（東京）196票
◎宮本義弘（東海）196票	◎野村敏彦（中部）196票
◎東野尚志（関東）195票	◎井田昌之（西東京）185票
北紀吉（東海）190票	

＊得票順（◎は新議員、無印は再選）

負担金算定新方式について議論

2015年度予算案審議では、新しい負担金配賦額と、現任陪餐会員数の多少と調整を用いる。新方式では9教区減額、8教区増額14年度同

「特定秘密保護法廃止を求める声明（神奈川教区提案が動議にて先議された。

「32回教団総会では8割近い賛成を経て西東京教区が設立された。まことの主の御体である教会の枝として伝道で一致する教区として設立した。

礼拝 ただ主にのみ望みをおく

総会中3つの礼拝を献げた。初日、開会礼拝は「ただ主にのみ望みをおく」（イサヤ40・27）と題し、マルコ10・23と題し、木下宣世牧師（東京・西千葉教会）が説教した。

「9月には満75歳の兄弟姉妹にイサヤ40・31を記した写真集を贈る。身体が弱り痛みや疲れを感じる人たちにとって御言葉は慰めとなる。しかし、新たに力を得、という御言葉には注目するが、主に望みをおく、には注意を払わないのではないか。

村田元牧師（関東・群馬町伝道所）が逝去教師・宣教師の氏名を読み上げ、「主の召しに應えて」（1コリント9・19と27）と題し説教した。

「愛するということは、相手のために変わる能力である（精教 聖餐を執行した。

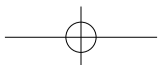
神科医・柏木哲夫。クリスマスに読みイェス・キリストを思い浮かべた。まことの神である方が、まことの人の子となられた。その生涯は仕えるため、自分の命を与えるためだった。

パウロは相手のために変わることを繰り返す。相手のために変わるエネルギーは、教会を迫害したパウロを、復活のイェス・キリストが愛してくださったことに応えようとしているからだ。

パウロは、キリストに仕える歩みを喜びとして引き受けた。召された教師の方々もキリストの召しに答え仕える者となり、キリストの恵みに応えて、多くの人々の魂を救うため仕える者として生涯を全うした。

3日目、聖餐礼拝では、真壁巖牧師（西東京・相愛教会）が「神の招きにふさわしく」（エフセン4・1と6、14と16）と題し説いた。

（新報編集部報）



報告

教会中高生・青年大会2014
東日本大震災救援募金及び被災教会復興と被災地支援活動

「イエス・キリストの名に」によって大会の様子が伝えられていた。増田委員長は「この大会が第32回教団総会の青年伝道決議の具体化であり、伝道・教育委員会と伝道推進室の共催、予算は、増田将平実行委員長より報告がなされた。また、山元克之実行委員作成のDVD



上：増田委員長、青年大会を報告
下：被災教会の現状を覚える

名が集まり、全教区153教会からの参加があった。他、在日大韓基督教会や台湾、韓国、アメリカ、ドイツ等からも参加者があった。更にこの大会を通して『洗礼を受けた』『伝道者となる決意を与えられた』と言う人がいた。青年たちが参加した仲間を通して、教団の各地の教会を知り、お互いに祈ることができた。そんな良いかと思

2日目の夜には恒例、部落解放センター解放劇「人間の言い伝え」(脚本・演出/川上穂)が行われた。今回は教会の青年に對し行われた身元調査が問題となる劇だった。教会役員・齊藤の息子「はじめ」は、同じ教会の「ことは」と交

解放劇『人間の言い伝え』

と考えた三上牧師は、部落差別問題について研修会を開催した。齊藤役員は、父親として息子が結婚するか親として息子の身元を調査するのは当然と強く反発し、クリスチャンとして落ち度は全く無い、と自負する。

「ことは」は、人権センターにスタッフ・松永を訪ねて部落出身であること、教会に起っている差別について相談する。松永も自分の身の上を話しながら相談に乗る。教会では、牧師、役員、青年たちの激論が交わされるが出来てしまった溝は埋まらないまま、一旦は「ことは」も教会を去る。

今回の解放劇で飲み屋の女將の立ち回りが、今回は人権センタースタッフであることに象徴されているように物語の対立軸も着地点もパターン化した劇に陥っている。演題「人間の言い伝え」、聖句・マタイ15章7-9節を案内チャリンに掲げた。主イエスが偽預言者を厳しく批判する言葉だ。厳しく批判されている人間の言い伝えとは何か。

総会2日目の議事終了後、信徒交流の集いが開催された。35回総会以来、恒例となった行事だが、5回目の本年は「全国信徒会再結成・発起人会」と装いを変えて行われた。

全国信徒会45年ぶりに再結成

第5回信徒交流の集い

来賓挨拶で石橋秀雄教団総会議長は、「今総会、教団は『伝道する教団の建設』を掲げたが、伝道は何よりも、信徒の力によって進めることが出来る。その意味で、全国信徒会の再結成は、教団にとって大きな喜びだ」と語った。

この日、発言した何人かが、徒会が設立されて、活動を続けた。09年11月、プロテスタント日会、東京信徒会を中心として、全国信徒会再結成の準備がなされた。45年ぶりに再結成された全国信徒会「主にある一致」(賜物の分け合い)

「会員相互の交わり」を通して、教団の福音の再結成に結実した」と語ったのが印象的だった。全国信徒会、教団成立の1941年結成され、戦後の47年、再組織されたが、69年、教団紛争によって実体を持っていた。2002年、東京信



事務局報

正教師転入
石橋隆広
(第7回常議員会承認)
補教師転入
石橋香代子
(第7回常議員会承認)
教師異動
中野 辞(代)大村 栄
東京復活就(兼主)星山京子
西九条 辞(主)杉山謙治

高槻向山 辞(主)山本 聖
箕面東 辞(主)丸尾雅俊
豊中 辞(代)服部 修
初芝 辞(代)井上啓史
聖学院大学辞教左近 豊
美竹 就(主)左近 豊
百人町 辞(担)金井美彦
関西学院大学 辞教松本真一
兵庫教区被災者生活支援、

長田センター 辞(教)柴田信也
教師隠退
渋谷一雄、亀田正己、
杉山謙治、大門義和、
渡辺利彦
教師退任
岡村紀子
第二種教会設立
横浜本郷台(伝道所より)
教会加入
葦のか(第二種)
千101-0033 東京
都千代田区神田岩本町15

14 山上ビル東館2階
教会所在地変更
大阪聖光
千556-0014 大阪市
浪速区大國2-6-16
教会所在地名変更
青森戸山
千030-0957 青森
市街沢4-8-16
教師改姓
田淵麻実→齋藤麻実
関係団体承認
関西農村教化研究所
(教団センターより)

伝道協力する多くの兄弟姉妹から励まし

来賓挨拶



京都

韓国基督教長老会

チェ・ブオク副総会長

ファン・ヨンデ議長、リ・ホソン副議長、ペー・デジン総幹事から、宜しく、47年に亘って、韓国基督教長老会は、貴教団とパートナー関係を築き上げることができ感謝している。貴教団が1967年に韓国三教会と協約を結んで下さり、共に発展することが出来た。

3年前に東北地方で起きた、地震・津波・原子力発電所事故の際、大韓イエス教長老会、基督教大韓監理会と共に、貴教団と深い連帯で結ばれた。また復興プロジェクトでの協力、支援のとりまとめを行い、被災地の方々に寄り添うこともできた。私たちの教団は南

台湾基督教長老会

チェン・ウェンジェン副議長

貴教団と台湾基督教長老教会(PCT)は永きに亘り宣教パートナーとして旅

時を共にする中で、関係が深められてきた。三つの経路を分かち合いたい。一つ目は、PCTは2010年から「一人が一人」の宣教運動を開始した。信徒たちが、霊的に養われ、奉仕、宣教、より良い関係の構築

を経験するためである。二つ目は、「神を愛し、隣人を愛しなさい」との最も重要な掟を生きるべく、信徒たちが献身、献金、力を献げる生活になるように計画を実施している。三つ目は、「あなたがたは行って全ての民を弟子にしなさい」との使命に関するものである。PCTの宣教は1864年から始まって、病院、学校の設立、社会奉仕も行って来た。1970年から人権、社会正義に努めて来た。PCTが、台湾人と共に喜び、共に泣いて暮らすことにより、教会は、台湾人の希望になる。

最後に、来年はPCT創立150周年であり、お祝いの行事がある。記念式典に、参加していただきたい。

合同メソジスト教会

小海 光宣教師

合同メソジスト教会監督代表ロースマリ・ウェナ1、世界宣教部総幹事トマス・ケンパー、並びに、世界4万の教会に代わり、キリストにある平和の挨拶をお伝えすることが出来る祝福を感謝する。

大韓イエス教長老会

チェ・ヨンナム副総会長

3年半前に東日本に起きた大地震、津波、原子力発電所による放射能流出に対して、残念な気持ちを禁じ

得ない。日本国民がこの苦しみから、神の愛によって癒されることを願っている。貴教団主催の「東日本大震災国際会議」に参席し、私たちは核問題に対する警戒心を持つことになった。昨年行われた、世界教会協議会(WCC)第10回釜山

督教団との関わりと、信頼があったことは言うまでもない。現在も、合同メソジスト教会から派遣されている宣教師12名は、日本各地でミッション活動に取り組んでいる。東日本大震災では、各地から集められた献金を、篤い祈りと共に、教団を通して送らせていただいた。将来に向けての私たちの祈りは、2005年の日北米宣教協力会解散の後切れていた、日本基督教団と合同メソジスト教会との間の宣教協約関係を回復し、ミッションパートナーとして、日本の地で主なる神の御業のために仕えて行くことである。

連帯福音宣教会

ユルゲン・ライヒェル総幹事(代読:サビーネ・クルーガー宣教師)

連帯福音宣教会(EMS)の交わりはまず祈りの共同体としてある。ガナナ、インド、韓国、その他、多くのEMSのメンバー教会が貴教団と思いを共有し、団結して祈っている。

今年7月に貴教団が示した大いなる歓待と友愛は心に強く残っている。日本の教会とEMS所属する教会の絆が2世代にわたって築き上げられて来た。悲しみと喜びを共にし、新しい試みに目を向けようとしてきたことが、私たちを強く結びつけた。

EMSは、東日本大震災の後、貴教団の牧会体験の実話から、多くのことを学んだ。神と人・自然・文化との結びつきへの私たちの理解を強めた。東日本大震災国際会議で採択した「仙台宣言」を広めるために、2015年6月に予定されているドイツ教会大会で貴教団の座席を確保した。EMSの多くの教会が、復興のために祈りを合わせている。

シリアで傷ついた子どもたちへの支援を感謝する。EMS議長マリアンヌ・ワグナーとともに、聖霊のみ名によって、日本の人々と教会への挨拶とする。

在日大韓基督教教会

チョー・ジュンレ総会長

リ・キョンエ総会長夫人

主にある兄弟姉妹と日本基督教団の上に主の豊かな恵みと導きがあるよう祈る。私たちを取り巻く状況は、悪い方に変化している。特にヘイトスピーチの問題は深刻である。人種差別的な扇動が繰り返されている。在日大韓基督教教会はこの問題に対処するため、世界教会に呼びかけ、2015年11月に第3回マイノリティ問題と宣教戦略国際会議を開催する予定である。小さな教団である私たちにとって大きなチャレンジとなる。協力をお願いする。

日本キリスト教協議会

小橋孝一議長

「伝道に熱くなる教団」、会として今回は「伝道する教団の建設」と、はっきりとした目標を掲げて歩んでいる日本基督教団に、心からの賛同と深い敬意を表す。NCCは、これから共通する目標に向かって共に歩んでいきたいと願っている。

NCCの使命は、日本の諸教会、キリスト教諸団体が「共に歩む」ことに寄与すること。互いに信頼関係を築いて「共に進む」ことが重要になっている。伝道、社会での発言・活動、国際関係において、共に担うべき課題は山積している。日本基督教団がどのような歩みをするかは、重要な意味を持っている。

この総会が御言葉に聴き従った協議と決定をし、日本基督教団と日本のキリスト教を更に前進させる総会となるよう、心から祈る。

※欠席教会からの挨拶

シंगाポール長老教会
ウォン・ポクイン幹事

3・11の津波以降、私たちは日本基督教団が日本の教会と信徒をまとめるための惜しみない努力をする様を見て来た。私たちが国家の復興と救済に尽力して来た。伝道は一日にしているものではない。長期に神の道に導くことが目的である。貴教団が助けを必要としている人々へ愛を注いで来たように、私たちがまた貴教団が信仰をより篤くし、主の救いに与ることを祈っている。

オーストラリア合同教会
ロブ・フロイド総幹事

プレゼンターのドクター・アンドリュース・ダトニー牧師、総幹事のテレンス・コキン牧師、合同教会信徒に代わって挨拶する。オーストラリア合同教会は、日本基督教団とのパートナー関係を重要視している。私たちは将来においても、

貴教団との連帯とパートナー関係を持ち続けるだろう。今回は代表をお送り出さないが、総会が主の霊によつて導かれますように。

ドイツ福音主義教会内の福音主義合同教会
ペトラ・ボッセIIファ一監督

総会が良い成果をもたらしますように。福音主義合同教会は、貴教団と教会共同体の交わりが与えられ、感謝している。3年前の深刻な放射能汚染に直面する困難で苦しい状況存じ上げつつ、貴教団が後遺症を乗り越えて歩みを進めなければならぬのがどれ程難しいか、理解している。このような挑戦的な状況にお

いても、教会の働きをなさる方々の熱意と勇氣には尊敬の念を禁じ得ない。この働きをした方々皆が抱く洞察を他の教会に伝える使命がある。御働きに神様の祝福と御導きがあるように。

消息

佐川俊也氏(隠退教師)



14年9月30日逝去、86歳。東京都に生まれる。55年日本聖書神学校を卒業。60年より川崎境町教会で牧会し、04年に隠退。遺族は妻・佐川眞弓さん。



福島聖二氏(白岡伝道所主任担任教師)

14年10月6日逝去、83歳。埼玉県に生まれる。53年青山学院大学基督教学科卒業。56年より熊谷、戸戸、久美愛、朝霞教会を経て、85年より白岡伝道所を牧会。遺族は妻・福島英子さん。

共に祈り、支えよう!

Let us pray for and support people and the Church together!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願い申し上げます。

2014年11月
教団救援対策本部長 石橋秀雄
目標額 10億円(国内のみ)
期間 2011年7月1日～
2015年3月31日
振替番号 00110-6-639331
加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金